

[others]

「京都医療科学大学開学式・入学」

京都医療科学大学 西谷 源展

平成 19 年 4月 6 日(金)に京都医療科学大学開学式・入学式が行われた。母校卒業生の悲願であった4年制大学がいよいよ船出をした。また、今年度は母校が創立して 80 周年の節目もある。

開学式・入学式は新築された本館の 5 階に作られた学友会記念ホールにて午前 9 時 50 分より始まった。来賓には、文部科学省高等教育局医学教育課長 三浦公嗣氏、京都府知事代理、南丹市長のほかに、日本放射線技師会会长 熊谷和正氏、日本放射線技術学会会长 藤田 透氏、学友会副会长 厚東正之氏など 69 名であった。

開学式では、矢嶋英敏理事長が挨拶に立ち、本学の歴史と4年制大学設立までの経過を述べられた。その後に、4年制大学の初代学長となる高橋 隆学長の開学宣言がなされた。

また、大学設置申請に伴って、審議会による教員審査に合格した教員の紹介がなされた。

来賓挨拶では、文部科学省、京都府からの挨拶に続いて、母校の卒業生である熊谷和正(41 回生)日本放射線技師会会长が祝辞をのべた。

続いて行われた、入学式では4年制大学の1期生となる 96 名が紹介された。入学式では、学長式辞の後、藤田 透(45 回生)日本放射線技術学会会长が祝辞を述べた。

入学式の後、創立 80 周年の記念講演は京都大学教授の平岡真寛氏により[21 世紀における放射線医学]と題して行われた。

記念講演の後は、学友会記念体育館に場所を移して懇談会が行われ、花岡正男 名誉学長や轟 京都府放射線技師会会长、本会より厚東正之副会长が挨拶を行った。

懇談会終了後には、学友会会員での参加者によって懇親会が行われた。この懇親会は山田勝彦先生の発案で、初めて日本放射線技師会、日本放射線技術学会の両会長が卒業生であり、一同に会することはめったにならうとの判断でこの会が行われた。

この会には、4年制大学の教員となる卒業生 8 名、学友会役員など 20 名が参加した。

山田勝彦先生、高橋正治前学長を囲み和やかな懇親会が行われた。

以上

* 通巻 184 号 2007 年 7 月 10 日発行(H19-No.2)より